九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

# 介護サービスの産業特性と労働市場に関する研究 : 福岡県を事例として

佐藤, 彩子

https://hdl.handle.net/2324/1806801

出版情報：九州大学, 2016, 博士（経済学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2,3）

（様式６－２）

| | |
|---|---|
| 氏　　名 | 佐藤彩子 |
| 論　文　名 | 介護サービスの産業特性と労働市場に関する研究：福岡県を事例として |
| 論文調査委員 | 主　査　　九州大学　　教授　　山本健兒<br>副　査　　九州大学　　教授　　久野国夫<br>副　査　　九州大学　　准教授　堀井伸浩 |

# 論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文は、介護保険制度導入以降に著しく発展している我が国の介護サービス産業を取り上げ、これに関する既往研究のレビューを踏まえた上で、その産業特性と労働市場の特性とを明らかにしたものである。そのために各種の統計やデータベースを用いた独自分析と、福岡県に立地する介護サービス企業経営者や介護福祉士養成学校教員への詳細インタビュー、及び介護サービス労働者へのアンケート調査という方法が用いられている。本論文の貢献は、特に次の３点に認められる。

第１に、介護サービスを担う事業所のうち著しく増加したのは営利法人であること、女性が主たる担い手であると思われがちなこの産業において男性従業者の増加数と増加率が大きいことに本論文は着目する。そこで、18の事業所の代表等への詳細インタビューを踏まえて、介護サービスを市場メカニズムに基づいて供給するために設計された我が国介護保険制度ではあるが、国による規制がきわめて強い産業であることが明らかにされている。

第２に、小規模営利法人創業時に必要な経営資源について、上記とは別の20社の創業者への詳細インタビューに基づいて具体的に明らかにされている。創業者やその家族の持つ社会的ネットワークが、労働力確保と顧客確保において一定の役割を果たしており、介護サービスが極めて狭い範囲の地域に密着していることが明らかにされている。

第３に、12の養成学校教員への詳細インタビューと介護士養成学校卒業生への独自アンケート調査とに基づいて、卒業生の就職先が医療法人や社会福祉法人などに偏していることが明らかにされている。ただしそこでも中途採用者やパートタイマーが多く、その中で養成学校卒業者は中核的人材として介護サービス事業の発展に貢献するという考えが提示されている。

介護サービス産業と労働実態を、地域と事業所現場に則して明らかにしたという意味で、本論文のこの分野での研究貢献は大きい。今後、養成学校を経ずに介護サービスの専門的人材となりえた人たちや外国人労働者への期待と実態に関する研究、あるいは大手営利法人と小規模営利法人との間の競争に関する研究へと展開することが期待される。

以上の理由により、本調査会は、佐藤彩子氏から提出された論文「介護サービスの産業特性と労働市場に関する研究：福岡県を事例として」を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める。